

駿台新報 (1号・大正11年10月25日～487号・昭和16年5月)

巻号	頁	西暦年	元号年	月日	標題	筆者/談話者	その他の標題/注記
17	2	1923	大正 12	12月15日	本学学生に限り友校早大図書館試験期来と共に開放		
26	3	1924	大正 13	4月21日	図書館に到着したウィルソン氏の最後の贈り物		ウィルソン「米国人の歴史」092.3/6/H (中央所蔵) 六万冊の蔵書灰塵
27	1			4月28日	図書館今日から貸出 先ず法律書から		元老西園寺公の令息・八郎
34	2			6月16日	西園寺八郎氏が蔵書一千冊をトラック一台に満載して本学図書館に寄贈す		フランス語の原書が大半
35	2			6月23日	学生有志の奇篤な行為に図書館より感謝状 先ず明大兵庫県人会と中華校友会に		兵庫県人会は各自1冊以上 中華校友会は50冊寄贈
52	2			10月13日	珍品も出る本学図書館展		図書館閲覧室にて開催
57	2			11月10日	十一月四五日頃を期して大々的に開催 図書館展 人気を呼んだ本紙の出品		岡田博士蔵書 新聞の出来る順序を熱心に見た来会者 大谷氏出品の仙国絵画
85	2	1925	大正 14	5月23日	開館延長の声 6千学徒の胸に湧く		予科大会の決議やら 有志の実行運動で
92	2			8月8日	藤森図書館長突如解職さる 後任は遠藤理事が兼務する 教務改善の実行か		藤森達三氏大正9年より現職
98	5			10月17日	図書館の閲覧時間は九時まで延長	桜井主任	有意義に利用して欲しと櫻井図書館主任語る
105	2			12月5日	試験に備へる為か図書館大盛況		矢張り一番多いのは豫科の坊ちゃん
107	3	1926	大正 15	1月2日	大蔵省から海外新聞寄贈		大内教授のきもいりで図書館の一特色となる
118	3			3月6日	学生の筆城で図書館大あたり	森本主事	従来より感じはよくなった 今後益改革すると森本主事語る
124	2			5月15日	山ほどの法律書が図書館へ着く		寄贈者は神戸の大橋利太郎氏 (校友)
130	1			6月26日	賠償金的一部分が書物で舞ひ込む	森本司書	割当は官庁と官立大学 私学の図書館は洩れるらしい
141	2			11月6日	天高うして図書館の秋		貸出口から見た現代学生相
150	3	1927	昭和 2	2月19日	世界に紹介される図書館灰じんの姿		藤澤衛彦氏編の英文「大震災記」に写真二葉を掲載 F070/1//DZ 岩波文庫の出現
169	2			10月1日	読書往来 併せて出版界瞥見	森本謙蔵	
186	3	1928	昭和 3	4月21日	明治大学復興グラフィック		
186	4			4月21日	先づ地下の図書館より	赤神良讓	
186	5			4月21日	理想の図書館へ	森本謙蔵	記念館居候の図書館
194	3			6月23日	図書館は最後に理想的なものを作る	横田学長	
214	3	1929	昭和 4	3月16日	図書館の最近		
216	2			4月27日	学生と図書館		

巻号	頁	西暦年	元号年	月日	標題	筆者/談話者	その他の標題/注記
218	2			5月11日	昨年度統計中の図書館の傾向は法律もの第一位を占む 女子部生日に十人と不便になった図書館の閲覧		
225	1			6月29日			国家試験に勉強する学生 盗難防止で大迷惑
230	2			9月28日	今秋より図書館の分類法改正さる		英国のブラウン氏の精神を汲み カッタ氏のを参酌して立案
230	3			9月28日	盛況の図書館 法、商、政の順に		学部別の利用者数
232	2			10月12日	神田近辺での読書傾向		通俗物と時節柄金解禁問題
237	2			11月16日	読書シーズンに利用減少の図書館		振はなくなった社会科学 凋落の社会科学研究熱と目覚しい経済書の躍進
243	2	1930	昭和5	1月18日	体育館バスケット場へ 図書館の引越し		図書閲覧は二十二日から
247	3			3月8日	景気の良い図書館		
250	2			5月3日	野球をよそに図書館は満員		高文や追試験で余念がない
253	1			5月24日	図書協調時代来る		私大図書協会創立 明、早、慶図書館 当局主唱し 蔵書の融通と分類の研究
253	1			5月24日	現金な女子部生 試験後は影もなし 此頃の図書館の一瞥		近く改造される図書館
256	2			6月14日	私大図書館聯盟設立の機運熟す		蔵書数 6万冊、開館日数 217日 本学森本氏規約原案作成し二十八日 早大で第一回委員会
257	2			6月21日	図書館の拡張工事開始		女子閲覧室は隔離
257	2			6月21日	図書購入委員会		
258	5			7月1日	私大図書館聯盟遂に組織さる 更に全国に拡張の計画		第一回創立委員会 早稲田大学図書館ホールにて
260	2			8月23日	一学期の総決算 図書館だより		4~6月閲覧者総数 7365人
263	3			10月4日	完成を強要さる本学図書館 第一回図書聯盟		第一回図書聯盟協会
268	2			11月8日	帝大図書館参観		東京帝国大学図書館参観
268	2			11月8日	図書館へ寄贈の書籍名 予科一同から		
268	3			11月8日	図書館云々を慮り照明設備を改善 従来の電燈		従来の電燈に更に各机上に四十三燈を増加
270	2			11月22日	騒動を知らぬ平和な図書館		明るい照明装置の下に連日満員の盛況
276	2	1931	昭和6	1月24日	満員! 満員! 図書館の輓近 だが淋しいのは女子部生が見えぬ事		輓近(バンキン)= ちかごろ
277	3			1月31日	図書館・教室・校庭		
282	2			4月23日	渴望容れられて大図書館新設の喜び		宏壮七階・工費四十万 今年末に一部竣工
284	2			5月9日	完璧の図書館設立に努力する学校当局 図書備付申込を募集		森本主事、理事・監事と共に 中大・東大図書館を参観・参考
286	2			5月23日	新入生のため図書館案内を作成 ご注意の数々		
289	2			6月13日	資金集まらず図書館設立困難 当局の不誠意暴露		森本主事等奔走

巻号	頁	西暦年	元号年	月日	標題	筆者/談話者	その他の標題/注記
295	2			9月19日	愈々着手した図書館建設工事 工事場気分の横溢		天井二階突き抜け採光
309	3	1932	昭和7	5月7日	キレイに化粧した図書館		五十周年記念事業の一つ
310	4			5月14日	読書傾向 三省堂と洋書主任談	岸本玄男 今井雄二 森本謙蔵	
311	4			5月21日	蔵書漫談		「駿台雑話」を引用
312	3			5月28日	新装なれる図書館 開館は六月一日		写真：学生閲覧室, 教員室
318	3			7月9日	得がたい珍籍が来春より図書館へ 留学生、 中川富弥君(在英)からの心よいたより		ベルリ著日本遠征記 092.3/85/H
319	1			7月23日	願望成就 図書館閉館延期 まじめに起った 好学の士		ガリ版印刷
322	2			9月17日	尾佐竹猛博士が図書館委員に加はる 文科を 代表して		
322	2			9月17日	濫澤家の美挙 多数の図書を本学へ寄贈さる		128冊(遠藤館長以下感謝)
322	2			9月17日	法学会有志の奇篤な行為 図書館へ贈り物		遠藤図書館長以下感謝
324	2			10月1日	図書購入に関し不穏なる噂さ 本学図書館に つきその実情を聞く	森本司書	
332	2			11月26日	図書館常時開館運動起る 法科学生を中心に 学徒真剣の叫び	森本司書	館員も休暇が必要
332	3			11月26日	晩秋の音を聴き本学記念図書館に読書傾向 を見る		十一月第二週第三週を中心に
333	3			12月3日	ポアソナード先生の通訳とデスク	岡田朝太郎	「その頃の思出」シリーズ
334	2			12月10日	図書館常時開館運動奏効か 先ず今冬休暇中 臨時開館		12月28,29、1月4,6~8日開館
339	1	1933	昭和8	2月4日	試験期迫り図書館満員 少し遅れると空席がな きなり学生達悲鳴をあぐ		ガリ版印刷
340	3			2月10日	図書館ヘシンバ 寄贈書二百冊 中田敬義氏の 義挙		
344	3			3月18日	待望の予科移転 八年度実現確定		図書館第二期工事建設も続いて来年迄 に完成す
344	3			3月18日	図書館の喜び 珍書の寄贈 上海の奇篤者から		
347	3			4月22日	素晴らしい成績で一高を征服 本学図書館給仕 で明中出身の長井君		図書館二部勤務者 一高入学後も 雇員として二部勤務
348	3			5月6日	能率増進を図り図書館案内考案中		森本司書他当局考案中
349	2			5月13日	図書館閲覧案内		開館時間平日8時~21時
352	2			6月10日	法科同窓会の快挙で図書館内容充実	吉田理事 森本司書長	自由覧図書を備付けて勉学の資とする
358	3			8月12日	図書館だけは休暇中でも開館 学生本位振り		

巻号	頁	西暦年	元号年	月日	標題	筆者/談話者	その他の標題/注記
443	2	1937	昭和 12	10 月 23 日	標題 事変下の学生を窺う 図書館風景を見る 商専の快現象	筆者/談話者 森本司書長	
447	2	1938	昭和 13	2 月 12 日	図書館満員 校友には別室を提供		
452	2			7 月 17 日	夏期図書館開放 八月一日から十四日迄	鈴木図書係	
455	2			10 月 17 日	勉学のバロメーター 図書館の利用者増加 兵書貸出も時局反映	森本司書長	
460	2	1939	昭和 14	3 月 17 日	予科に新図書館建つか 入学者増加に教室拂底		
463	2			6 月 17 日	図書館や学生ホール 明治神社側に建築		予科ニュース
465	2			8 月 10 日	新図書館予科校庭に工事着々進み九月下旬 完成か		
466	2			9 月 17 日	図書館に見る学園のよるこび		
468	2			10 月 27 日	好学の秋に輝く 和泉丘図書館献納 学徒熱意の結晶		
471	4			12 月 17 日	銃後の本学生はどんな書物を読む? 歳末書店 のぞ記		

明治大学新聞 (488号・昭和16年5月17日～1319号・昭和49年6月27日)

巻号	頁	西暦年	元号年	月日	標題	筆者/談話者	その他の標題/注記
497	3	1942	昭和 17	1 月 17 日	恩賜記念図書館建設 一路竣成に邁進		
523		1944	昭和 19	4 月 17 日	読書研鑽を薦むるの弁	赤倉武	政経学部教授
524				5 月 17 日	<524号にて廃刊>		
525		1945	昭和 20	10 月 25 日	<525号にて復刊>		
587		1950	昭和 25	6 月 5 日	図書館などを充実 ゆとりある学生生活を	鷗沢総長	
589				6 月 25 日	本年度予算決算決定す 研究図書費に重点		
632		1953	昭和 28	5 月 25 日	図書館の増築など 石井専務本年度構想を発表		
648/9	1			12 月 7,14 日	駿河台に白亜の殿堂		大学院関連
662/3	1	1954	昭和 29	5 月 31 日	貧弱な図書館施設収容人員在学生の僅か 2.5%	佐々木館長	本館, 和泉, 生田, 大学院分館
673/4	4			9 月 25 日	超満員に頭痛鉢巻 秋の図書館探訪の記		蔵書数約 30 万冊
676	1			10 月 15 日	強い図書館拡充の要望		学生は何を望むか アンケート結果
746	1	1956	昭和 31	11 月 25 日	図書館建設計画進む 委員に佐々木博士など	奥村幹事	
756	4	1957	昭和 32	4 月 25 日	小林文庫など六万冊 和泉校舎図書館の現況		小林文庫 1,400 冊
760	2			6 月 5 日	充実完備した図書館	伊藤省吾	生きている明大史④
763	1			7 月 5 日	図書館設備の拡充求む		学生は何を望むか アンケート結果
764	1			7 月 15 日	図書館建設を優先 六ヶ年計画の一部を変更		
767	1			9 月 15 日	図書館着工は今年度中に		
778	1	1958	昭和 33	1 月 25 日	図書館は年度内着工	武田教務理事	

巻号	頁	西暦年	元号年	月日	標題	筆者/談話者	その他の標題/注記
778					夜の図書館		
788				6月15日	新図書館ようやく着工 第一期工事 工事開始は七月中旬		地下四階地上四階 工費に約一億円計上 蔵書百万、千名を収容 十九日理事長ら出席し地鎮祭
793	2			9月5日	新図書館建設進む		分校ニュース
800				11月5日	和泉充実案まとまる 鉄筋四階の図書館も計画		総合計画委 具体的審議に入る
804				12月5日	和泉校舎の拡充計画 ます新図書館建設から		政経学部備付け資料
806		1959	昭和 34	1月15日	一冊 400万円也 図書館の新規購入文献 英国の議会関係図書		HC Parl. Papers1801-1900 目録はマイクロカード
814				5月5日	保存より利用価値へ 本校図書館建築について	浦良一	
815	1			5月25日	図書館長に島田教授		佐々木教授の依頼退任で
826				9月25日	図書館完成に思う	島田正郎 奥村藤嗣	英国議会議事録 HC Parl.Papers1801-1900(M373 所蔵) 本館図書館第一期工事完成
826					生きた文献の活用を 保存中心より利用中心へ		
828	4			10月15日	庭のある図書館 開館は 11月下旬		
834				11月26日	図書館員が暴力沙汰 態度が悪いと学生を殴る		
834	4				初冬の図書館	安田誠治	
835	3			12月3日	加害者は休職謹慎 図書館員殴打事件一応解決	奥村司書長	
844	2	1960	昭和 35	3月3日	和泉新図書館を語る	奥村藤嗣他	
845	1			3月10日	新入生を待つ和泉新図書館		
858				6月23日	和泉校舎に近代庭園		堀口博士設計担当
868	4			9月29日	書物の貸借	小島信夫	芥川賞作家 工学部助教授
869	4			10月6日	耳から豊かな知識を 和泉図書館視聴覚室にて	奥村藤嗣	
870	4			10月13日	新しい二つの図書館 本校図書館 和泉図書館		
881	7	1961	昭和 36	1月12日	祝 明治大学創立 80周年		奥村藤嗣芳名 昭和 2年法学部卒
886	2			2月23日	休暇中の開館期日について		
892	4			4月27日	読書について 精読と乱読は裏表		
921	2	1962	昭和 37	1月11日	故鶴沢総長像を建立 3月21日 本校図書館前に		
935	4			5月10日	学生と読書 1 最小限の読書計画	橘忠衛	学生と読書シリーズ
939	4			6月7日	学生と読書 まず自然科学から	鍋田一	
942	2			6月28日	学生と読書 大切な洋書の多読	高橋義臣	
943	12			7月5日	学生と読書 ロマン・ローランの三つの伝記を	田中豊喜	
944	3			7月12日	図書館 夏休み中の開館予定	奥村藤嗣	
945	2			7月19日	学生と読書 実用的な読書姿勢を	川口寅之輔	カッパブックスも気軽に読め
949	1			8月30日	大学職員の話	奥村藤嗣	学生と読書シリーズ 終章
949	2			8月30日	図書館は開架式に	坂口藤雄	
951	1			9月20日	2年で図書館の虫	水野東太郎	「私の足跡」8-2
960	1			12月6日	高田氏は図書館勤務		学内人事

巻号	頁	西暦年	元号年	月日	標題	筆者/談話者	その他の標題/注記
969	9	1963	昭和 38	3月 7日	二つの図書館		
974	2			4月 11日	著しい新書の進出	堀秀行	明大生の読書傾向 (2) 新書編
982	8			6月 6日	親切な国粋主義者	印南博吉	外国の図書館と文化人の思い出 その 1
985	2			6月 27日	行届いたカード整理	印南博吉	外国の図書館と文化人の思い出 その 2
987	2			7月 11日	あたたかい英人氣質	印南博吉	外国の図書館と文化人の思い出 その 3
988	2			7月 18日	ドイツ人特有の根性	印南博吉	外国の図書館と文化人の思い出 その 4
989	2			7月 25日	仕事の鬼、ペーター氏	印南博吉	外国の図書館と文化人の思い出 その 5
991	2			8月 29日	理屈っぽさに閉口	印南博吉	外国の図書館と文化人の思い出 その 6
995	2			9月 26日	コンドルセで歓談	印南博吉	外国の図書館と文化人の思い出 その 7
996	2			10月 3日	国境越えた親しさ	印南博吉	外国の図書館と文化人の思い出 その 8
998	2			10月 17日	女房あつての夫だ 近江の血をつぐカカア天下	印南博吉	女房とは奥村司書長のこと
1000	5			11月 7日	明治大学新聞 1000 号譜		奥村司書長交通事故入院
1035	4	1964	昭和 39	9月 17日	情熱と闘志の生涯 布施辰治氏の旧蔵書にみる	奥村藤嗣	
1036	4			9月 24日	本紙の合本を発行 非売品 国立国会図書館などに寄贈		第 600 号 ~ 1000 号の合本 (4 分冊)
1037	1			10月 1日	図書館司書長代理に高田氏		奥村司書長渡欧の代理
1039	2			10月 15日	戦後直後の本紙バックナンバーをお持ちの方にお願い		第 525 ~ 596 号までの欠号補充願ひ
1045	4			11月 26日	図書館の利用状況 38 年度統計より		図書館閲覧統計
1061	4	1965	昭和 40	4月 29日	図書館のほん [1]		U.S.National reporter system(中央所蔵)
1063	4			5月 20日	図書館のほん②	水野教授	享保から明治までの長唄の原本集
1076	1			9月 16日	図書館長に印南教授が再任		
1084	4			11月 18日	図書館のほん [3]	木村礎教授	内藤家古文書
1087	2			12月 23日	図書館の利用状況 高い文学部の利用率		閲覧者は五、七四八七人
1094	24	1966	昭和 41	2月 24日	図書館紹介 六十万冊の蔵書		生田にも新館建設計画
1103	1			5月 19日	古本の棚と新刊の壁	浜本武雄	神田の古本屋街点描
1114	2			6月 9日	本紙合本ができました		1050 号 ~ 1100 号
1139	8	1967	昭和 42	8月 18日	積極的に予算の合理化を	奥村藤嗣	
1142	4			4月 27日	図書館長に就任した佐藤正彰		明大 時のひと
1149	4			5月 25日	崇高想念が脈打つ 珍本・稀観書の発見	奥村藤嗣	ある感動 第八話
1150	4			7月 27日	大学生は「本」を読む義務を	西村孝次	大学生は本を読むか
				8月 10日	今が唯一の読書時代 何ために「読書」するのかを	西谷能雄	大学生は本を読むか
1151	1			8月 17日	二部新寮、生田図書館		今年度の建設予定の建造物
1164	4			12月 21日	全館で 5 千人 (1 日) が利用 和泉では指定制度の段階へ		図書館と明大生 現況と図書館閲覧利用状態
1174	7	1968	昭和 43	4月 11日	新入生の必読書 教授が推薦する一冊の本		
1176	1			4月 25日	今年度の建築予定 図書館・第三校舎		堀切寮の建設始まる

巻号	頁	西暦年	元号年	月日	標題	筆者/談話者	その他の標題/注記
1207	1	1969	昭和 44	2月 13日	生田図書館の建設始まる		六月に竣工の予定
1210	2			3月 13日	生田に図書館・農校舎建設 7万冊の自然科学書		図書館生田分館-完成は6月末を目標に
1211	2			3月 20日	11氏が退職 奥村(図書館)氏ら		
1211	2			3月 20日	書は縁の下の力持ち	奥村藤嗣	
1212	7			4月 10日	読書へのいざない 八教授の座右の書から		
1216	2			5月 8日	図書館事務長に高田氏		
1217	1			5月 15日	和泉研究室建設 完成は来年度 旧研究室は		旧研究室は図書館に改造
1222	2			6月 19日	本館図書館にも乱入 機動隊無抵抗の学生に 乱暴	高田正次	図書館乱入に抗議
1255	2	1970	昭和 45	4月 9日	奥村氏 7日次期法人監事きまる		
1255	7			4月 9日	新入生への読書のすすめ		
1273	3			8月 27日	図書館に疎遠な学生生活 少ない利用者 駿河台平均一人年 26回入館		44年度学事記録 ひろいよみ 図書館統計あり
1274	1	1971	昭和 46	3月 4日	本紙再刊によせて		
1274	2			3月 4日	休刊から再刊までの経緯		
1311	2	1974	昭和 49	1月 10日	新聞定期購読募集記事		明大新聞終焉への序章
1319				6月 27日	終刊か？		